

基本を忘れた経済／失業者を無くせ！

(不景気・失業者・自殺者は正比例しているのだ)

20 11 30

経済の基本は屋台である。終戦直後のあの『闇市』の『屋台』である。失業者の方々が屋台を引っ張る根性がある限り日本経済は、決してへこたれることはない。

失業ということは、職を失う、ということである。企業に就職した者が『解雇』されても、自分で『職』を探せばいいのだ。食べていく為には、他人（個人・法人）に依存しないで、食っていくことを考えるのだ。

希望の就職先が見つからなければ『独立・自立』の『屋台開業』を選ぶのだ。

この時こそ、国は『血税』を使って、その『独立・自立』の『屋台開業』を支援するのである。国が当該屋台開業資金を一律百万円（百万円あれば立派な屋台開業はできる）出せば（担保なし・保証人なし）、『失業』という大問題は解決できるのである。

三百万人の失業者の方々に屋台開業資金を一律百万円出したとしても、たかだか三兆円である。

そして『屋台団地』を市区町村の至る所に作るのだ。終戦直後の『屋台マーケット・市』を昼夜に亘って作れば、国民はこぞってその『屋台マーケット・市』に集まるのである。古今東西『市』（市場／交換市場～商業市場）が経済の中心だった。その原点は『屋台』だったのである。

ところが現在の『市』は『金融市場』が中心で、世界中の人々は門外漢なのである。その『金融市場』を牛耳っているのが、言わずもがなユダヤ七大財閥（①ロスチャイルド・②ロックフェラー・③サッスーン・④クーンロエブ・⑤モルガン・⑥ベクテル・⑦ザハロス）である。

このユダヤ七大財閥が〔売り〕に走れば世界は『不況』となり、反対に〔買い〕に走れば世界は『好況』となるのである。世界の総資産・五京円（五兆円の一百万倍）の約半分・二京五千兆円の資産を有するユダヤ七大財閥の『仕手』により、世界経済は『不況』になったり『好況』になったり七転八倒するのである。

世界経済の構造的矛盾は『金融資本主義』の最終段階・『金融市場』の『選民主義』（潜在的選民思想による、ユダヤ人によるユダヤ人の為の金融市場支配。ユダヤ資本に認められれば『店子』になれる）にあるのだ。

アンチユダヤ資本の最後の抵抗が現世界経済（金融市場）の『不安定・不景気・不況』の真の原因である。日本経済は米国経済（ユダヤ資本系）と同根なので、ユダヤ資本が米国資本と歩調を合わせて日本を見限らない限り、早晚、景気回復に向かうことはそれなりであろう。

問題はアンチユダヤ資本の『結束力』と『反発力』である。アンチユダヤ資本とは、①アラブ資本、②中国資本、③インド資本、④反ユダヤ資本、等々のバラバラ資本・計二京五千兆円の『結束力』『反発力』が、どこ迄ユダヤ資本の『仕手』を『売り』から『買い』に『量質転化』できるか？である。

そんな中、日本経済は失業者三百万人若を抱えて、不況不景気に喘いでいる訳だ

麻生総理のデタラメのバラマキ（①IMF 国際通貨基金に 10 兆円、②定額給付金に 2 兆円、③地方交付金に 1 兆 3000 億円、④高速道路 1000 円乗り放題、等々）は、全く話にならない『犯罪』である。

己の『人気買収』の為の『血税背任横領』で、麻生は『政局』以外のことは何も考えていない『無政策・無能男』そのものの『大馬鹿者』なのだ。

こんな国賊を総理総裁にした自民党、その自民党を選んだ国民、国民はもう目を覚まさなくては、日本という国体は『雲散霧消』し、目覚めたら、アメリカの一属州になっている破目に陥るのである。

『人間が人間らしく生きていく為に政治・経済がある』（新村紘宇二）。この哲学を人類普遍の『定義』にしない限り、人間はこれから先もずっと『七転八倒』の『貪主』の苦しみを味わい続けるのである。

『貧乏』とは『貝』（財貨）を『分かつ』ことで、その『分かつ』べき『貝』（財貨）が『乏しい』ことである。

『貧乏』の対義語は『^{どんしゅ}貪主』である。『^{どんしゅ}貪主』とは『貝』（財貨）を『今する』（現有する）こと^で、その『今する』（現有）する『貝』（財貨）を『分かつ』ことなく、反対に『主』になることである。

俗に『金持』と言われる『^{どんしゅ}富裕層』は『^{むさぼ}貪主』（財貨を貪る主）のことである。

『貧』と『貪』の漢字を良く見れば解る通り、『貧』のほうが『貪』より、はるかに『品格』が上なのである。

たった三兆円の血税で失業者の方々に『独立・自立』の『屋台開業資金』を一律百万円支援出来るのに、麻生（現総理）という大馬鹿者は、己の総理総裁延命の『術策』としてのみ、国民の血税を恣にばらまいて、『人気買収資金』にしているのである。

一般漢字も読めない馬鹿丸出しの麻生と、その麻生を『表看板』にして『政局』を乗り切ろうとした『無用の長物』・自民党を、国民は『おらが地元の恥曝し』として『鉄槌』を食らわすしかないのである。

そして、一度、民主党野党連合に『政治・経済』をやらせてみて、それでも駄目なら、私（新村紘宇二）が率いる『日本義団』に任せればよいのである。働く気のある者が、汗して働き、決して『貪主』にならず、皆で『分かち』合い、励まし合えば、『失業』という『自殺』の温床は、日本から無くなるのである。

『失業』は国策の無能から生じる、人為的罪悪である。年三万人以上の自殺者は、日本を実効支配している、『闇の東大官僚帝国／逆賊・二階組』の『私腹主義・売国主義』の『仕業』（責任）なのである。

大義の府 日本義塾 新村 紘宇二

<http://gijyuku.634tv.com> gijyuku@634tv.com